



言葉を持たない動物たちが痛いのかどうかを、より正確に知りそれに対して適切に対応できるようにすること、動物たちの麻酔をより安全で、より快適なものにすること、これは獣医師にしかできない仕事であり、また動物との共生社会をより確かなものにするために重要なことです。これまで行ってきた研究の一つが完全静脈麻酔の開発であり、各種動物における薬物動態/薬力学(PK/PDの情報に基づき、バランス麻酔のコンセプトにより様々な側面からアプローチを重ねてきました。もう一つの研究テーマが各種動物における痛みの解明と、鎮痛薬の評価です。近年痛みのメカニズムがかなり解明されてきましたが、これまでの研究で動物種により鎮痛薬の効き方が一様でないことを明らかにしてきました。